

科目名	茶道				担当者	鎌 田 文 恵						
区 分	選択	2	単位	授業回数	30	回	授業 形態	実習	学年	1・2年	開講期	通年
				授業時間数	60	時間						
教員との連絡方法 質問等の受付方法		授業前後にオフィスアワーを設ける										
専門的 学習成果	①	茶道における初めの一步であり、基本動作でもある「薄茶点前」を行うことができる。										
	②	利休の教えである「和敬静寂」の理念を説明できる。										
	③	「利休七則」に則り、一碗を通して相手を思いやり、もてなすことができる。										
	④	茶道の歴史から茶器や墨蹟などの諸芸術に対する造詣を考察することができる。										
	⑤	閑寂の知見を広め、自己を内省し、実社会へ適用できる。										
汎用的 学習成果	(1)	茶道の作法を通して、人との関わりに必要な自己表現、他者理解ができる。(専門的学習成果①②③④)										
	(2)	人間関係の尊重、集団の規律を遵守を通して、協働し、地域社会の発展に積極的に貢献することができる。(専門的学習成果②③④⑤)										
授業概要	<p>仏教を建学の精神とする本学園の方針に基づき、日本の伝統的精神文化である茶道の作法を通じて、国際社会に生きる日本人としての基礎的資質を育むとともに豊かな情操を養い人格完成を目指す学習を行う。</p> <p>具体的には運び、薄茶点前を行う。</p> <p>特に人間相互の関係を尊重しあいながら集団の規律を遵守し、相手を思いやる心を養い、実技を通じて礼儀作法、点前の基礎、使用する茶器や花を通じて美的感覚を身につける。</p> <p>具体的には茶会を行う。</p>											
評価方法 基準等	学習成果	種別	割合 (%)	評価方法・基準								
	専門的 学習成果	定期試験										
		レポート										
		実技試験	50	各種点前、礼儀作法の内容を評価する。								
		平常点	50	実習への取り組み・意欲・態度により評価する。随時到達度、理解の程度を確認する。								
汎用的 学習成果	汎用的学習成果 (1) (2) については、以下のとおり専門的学習成果により評価を行う。 (1) は専門的学習成果①②③④により評価を行う。 (2) は専門的学習成果②③④⑤により評価を行う。											
テキスト 等	著者・編集者名		書名				出版社名					
			『裏千家茶道』				淡交社					
参考書 参考文献	著者・編集者名		書名				出版社名					
①準備学習等履修上の留意点 ②課題に対するフィードバックの方法等		<p>①帛紗、古帛紗、扇子、懐紙、足袋（白ソックス）一括購入約5,000円と実習費6,000円がかかる。裏千家初級が習得できる。(許状申請も可能)</p> <p>時間外学習（30時間）として、点前に必要な基本動作を習得するまで繰り返し稽古に励むことを挙げたい。一方で茶道の理念ともいべき精神文化に触れる機会も見いだすこと。</p> <p>具体的な方法としては茶室を訪れ、露地（茶室の庭）を散策し、さらには博物館や美術館などの文化施設に足を運ぶなどして精神的、普遍的教養を身に付ける。</p> <p>②小テスト後や実技試験後に具体的な作法の注意点について指摘し、解説を行う。</p>										

授業計画			学習成果の評価	授業計画			学習成果の評価								
1回	授業内容	茶道とは何か。歴史、意義など	美しい姿でお辞儀等の所作振る舞いができるかを確認	16回	授業内容	茶道の精神	上手に茶を点てる ことができるかを 評価								
	学習成果	茶道の精神性への理解			学習成果	和敬清寂、利休七則の理解									
	予習復習 の 内 容	四規、和休七則の熟読玩味			予習復習 の 内 容	自己を顧みつつ、先達に思いを致す									
2回	授業内容	基礎、基本の実技		各茶道具の適切な 扱いができるかを 確認	17回	授業内容		風炉薄茶点前③ 運び	上手に茶を点てる ことができるかを 評価						
	学習成果	茶道具の扱い方				学習成果		道具を選び、点てること							
	予習復習 の 内 容	茶道具の名称、使い道を知る				予習復習 の 内 容		客と亭主、それぞれの立場を理解する							
3回	授業内容	座る、立つ、歩くの基本動作			各茶道具の適切な 扱いができるかを 確認	18回		授業内容		風炉薄茶点前④ 手前	上手に茶を点てる ことができるかを 評価				
	学習成果	滞りない一連の動き						学習成果		人前で茶を出し、片付けの手前ができる					
	予習復習 の 内 容	基本動作の体得						予習復習 の 内 容		心を込めて茶を点てる					
4回	授業内容	礼節の基本。お辞儀、ふすまの開閉など				各茶道具の適切な 扱いができるかを 確認		19回		授業内容		風炉薄茶点前⑤ 動作	流れるような点前 ができるか一連の 動作を確認		
	学習成果	正しい姿勢を保つ								学習成果		滞りない一連の動作ができる			
	予習復習 の 内 容	「真・行・草」の習得								予習復習 の 内 容		姿勢、動作の反復練習			
5回	授業内容	割り稽古						各茶道具の適切な 扱いができるかを 確認		20回		授業内容		風炉薄茶点前⑥ 点茶	上手に茶を点てる ことができるかを 評価
	学習成果	基本動作、道具扱いの習得										学習成果		滞りない一連の動作ができる	
	予習復習 の 内 容	反復練習										予習復習 の 内 容		姿勢、動作の反復練習	
6回	授業内容	帛紗の扱い方	各茶道具の適切な 扱いができるかを 確認				21回			授業内容		風炉薄茶点前⑦ 点茶		上手に茶を点てる ことができるかを 評価	
	学習成果	茶器を正しく拭き、腰に付ける								学習成果		滞りない一連の動作ができる			
	予習復習 の 内 容	反復練習								予習復習 の 内 容		姿勢、動作の反復練習			
7回	授業内容	棗（なつめ）の清め方		各茶道具の適切な 扱いができるかを 確認			22回		授業内容	風炉薄茶点前⑧ 総合		流れるような点前 ができるか一連の 動作を確認			
	学習成果	正しく扱い、帛紗で清める							学習成果	滞りない一連の動作ができる					
	予習復習 の 内 容	反復練習							予習復習 の 内 容	姿勢、動作の反復練習					
8回	授業内容	茶杓の扱い			各茶道具の適切な 扱いができるかを 確認		23回		授業内容	風炉薄茶点前⑨ 確認	上手に茶を点てる ことができるかを 評価				
	学習成果	正しく扱い、清める							学習成果	正しい姿勢を保つ					
	予習復習 の 内 容	反復練習							予習復習 の 内 容	鏡に自分を映し確認					
9回	授業内容	茶巾の扱い				各茶道具の適切な 扱いができるかを 確認	24回		授業内容	風炉薄茶点前⑩ 確認			上手に茶を点てる ことができるかを 評価		
	学習成果	主旨は清浄、清潔、たたみ方を知り、碗に仕組める							学習成果	正しい姿勢を保つ					
	予習復習 の 内 容	反復練習							予習復習 の 内 容	反復練習					
10回	授業内容	茶筌の扱い					各茶道具の適切な 扱いができるかを 確認	25回	授業内容	風炉薄茶点前⑪ 点前					流れるような点前 ができるか一連の 動作を確認
	学習成果	正しく扱う							学習成果	滞りない一連の動作ができる					
	予習復習 の 内 容	反復練習							予習復習 の 内 容	反復練習					
11回	授業内容	茶碗の清め方	各茶道具の適切な 扱いができるかを 確認					26回	授業内容	風炉薄茶点前⑫ 道具の拝見				客、亭主の立場を 理解し適切な立ち 居振る舞いので きる	
	学習成果	茶巾を仕組み、茶碗を清める							学習成果	無の心での点前の実践					
	予習復習 の 内 容	反復練習							予習復習 の 内 容	自己を顧みつつ、茶道の精神の理解					
12回	授業内容	柄杓の扱い 等		各茶道具の適切な 扱いができるかを 確認				27回	授業内容	風炉薄茶点前⑬ 道具の拝見		客、亭主の立場を 理解し適切な立ち 居振る舞いので きる			
	学習成果	湯水の汲み方、収め方を会得							学習成果	茶道具の鑑賞					
	予習復習 の 内 容	置き、切り、引きの反復練習							予習復習 の 内 容	書籍、美術館への探訪					
13回	授業内容	客の心得、お茶、お菓子のいただき方			各茶道具の適切な 扱いができるかを 確認			28回	授業内容	風炉薄茶点前⑭ 道具の拝見	客、亭主の立場を 理解し適切な立ち 居振る舞いので きる				
	学習成果	美しい所作で茶をいただく							学習成果	滞りない動作で客をもてなすこと ができる					
	予習復習 の 内 容	茶会への自主的参加							予習復習 の 内 容	水屋での準備、計画を立てる					
14回	授業内容	風炉薄茶点前① 道具				上手に茶を点てる ことができるかを 評価		29回	授業内容	客の心得、水屋の心得、道具の拝見			客、亭主の立場を 理解し適切な立ち 居振る舞いので きる		
	学習成果	道具を選び、正確な位置に座す							学習成果	相手を慮る					
	予習復習 の 内 容	足の運び、道具の扱いの反復練習							予習復習 の 内 容	亭主の立場の理解					
15回	授業内容	風炉薄茶点前② 建水、柄杓					上手に茶を点てる ことができるかを 評価	30回	授業内容	お祝いの茶事					客、亭主の立場を 理解し適切な立ち 居振る舞いので きる
	学習成果	建水を持ち出し、柄杓の引き方を学ぶ							学習成果	茶事を体験し、茶の湯の味わいを知る					
	予習復習 の 内 容	指先、手の動きなど細部にわたる自己研鑽							予習復習 の 内 容	一年間の授業を終え、改めて「茶道とは」 に思いを致す					